

一般シンポジウム S02

医薬品による有害事象 0（ゼロ）への挑戦 ～日本医薬品安全性学会設立を起点として～ Challenge to Turn Adverse Drug Event into a Zero ~Starting from the Establishment of Japanese Society of Drug Safety~

宇野 勝次¹, 前田 頼伸²

¹福山大薬, ²中国労災病院薬

2014 年度に『日本医薬品安全性学会』を立ち上げ、本年度（2015 年）の 7 月 4-5 日に『第 1 回日本医薬品安全性学会学術大会』を開催し、第 1 回目にも拘らず 420 名以上の参加者を得て好評を博した。本学会は、医薬品の安全性に関する知識、技能、態度を育成し、医薬品安全性専門薬剤師の養成を通して、臨床現場で医薬品の安全性の向上を図ることを目的としている。

本シンポジウムでは、初めに本学会設立の経緯を説明し、本学会が提唱する「被疑薬剤と有害事象の関連度評価基準」と「副作用重篤度（グレード）判定基準」を提示し、アレルギー性副作用と中毒性副作用における発生機序、誘発要因及び回避対策の検討の有用性について言及し、臨床現場で病院薬剤師および薬局薬剤師が如何にして医薬品の安全性に取り組むかの指針を示す。